別紙３－３

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞　※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団　　松涛会	事業所名	看護小規模多機能　ケアタウンやすおか
所在地	（〒759－6640） 山口県下関市横野町 3 丁目 1-2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当法人の病院を中心として、他機関と連携強化を図り、医療・看護・介護・福祉が一体となり、医療ニーズがある重度の方を地域で支えることで、利用者・家族の安心感に繋げている。
医療ケアが必要であっても介護職がしっかり生活を支え、看護職が健康面と医療的サポートをすることで、在宅生活の可能性を広げ、住み慣れた暮らしのあり方や尊厳を保つケアの取り組みを行っている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価実施日	西暦 2021 年 12 月 20 日	従業者等自己評価実施人数	（ 17 ）人　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】）

実施日	西暦 2022 年 1 月 19 日	出席人数（合計）	（ 9 ）人　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（ 3 人）□市町村職員（ 1 人）□地域包括支援センター職員（ 1 人）□地域住民の代表者（ 4 人） □利用者（ 人））□利用者の家族（ 人）　□知見を有する者（ 人）　□その他（ 人）		

■ 前回の改善計画の進捗評

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		・看護小規模の特徴や機能へのニーズを職員間で明確にしていく。具体的には理念に付け加え、基本指標を策定し職員へ周知する。 ・外部講師による勉強会でレベルアップを図る。 ・事例検討やカンファレンスを適宜行い職員全員の専門的技術・知識の向上に繋げる。	・皆が同じ方向を向き業務遂行が出来る様、理念を見直し基本指針を作成したことで、日々の業務における行動指針を分りやすくした。 ・「尊厳を守るケア」の理念に立ち返りひとつひとつのケアにおける振る舞い方が定まる様、事業所独自の接遇マニュアル・認知症ケアマニュアルの作成を行った。 ・4 月に「地域包括ケアシステムの構築方針・計画内容」 7 月にやすおか･吉見地域包括支援センターによる「高齢虐待研修」と 2 回の外部講師による勉強会を行うことができた。	「尊厳を守るケア」を行うため分りやすい行動指針を作成し業務を遂行することは大切なことです。 そのためにも職員全員の技術・知識向上の為、日々研修が重要となってくると感じています。 前回の改善計画を基に具体的な取り組みが実施されているので良いと思います。
Ⅱ．サービス提供等の評価	１．利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	・包括的なサービスの提供が協働して行えるように状況変化に応じて関係各所との連携を図り迅速な対応ができるよう取り組む。	・利用者・家族の様々なニーズに早急に対応し体調の変化や家族のレスパイト等、考慮しながら他職種と連携を図り柔軟なサービスの提供に努めた。 ・月 1 回の感染部署担当者会議に参加し	他職種との連携により、新しい情報を入手でき柔軟なサービス・迅速な対応が可能となってきます。 感染部署担当者会議への参加・勉強会の成果を職員への伝達・共有することがリスク回避の一助となると感じた。

		・法人の感染部署担当者会議への参加を行っていき感染対策やリスク管理の体制を強化していく。	特にコロナウイルスの感染対策や感染発生時の対策フロー感染にかかる職員の処遇等を職員へ伝達、共有することができた。 ・感染リスク勉強会や感染対策研修会の資料を内覧し確認テストを随時行い感染に対する管理体制を強化した。 コロナウイルス対策における個人防護具の着脱研修もおこなった。	利用者・家族配慮されながら、対応されているので、継続して頂きたい。 会議に参加された内容も職員へ共有されていることは良いことだと思います。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	・コロナウイルス感染対策として、運営推進会議が中止となった場合、書面会議の開催に変えさせていただき書面で報告を行い意見等、頂き運営に反映していく。 ・今後も主治医・看護師・関係各所と密に連携を図り状態の変動に合わせたサービスを検討・実践していく。 ・リスク管理・衛生管理・緊急時の対応・介護との協働等の看護師会議を月 1 回行っていく。	・書面での会議の開催とし意見等を返信していただいたことで、運営に反映することができた。 ・看護師会議を毎月行い相互のケースカンファレンスや記録からの情報共有を図り医療についての根拠ある説明や注意点を全体ミーティングで共有することを行った。	運営推進会議のメンバーとして、内部の詳細についてはあまり知らないが改善計画・実施した具体的な取り組みをと通して看護師という専門職との会議を行うことによりそこから得られた情報を職員で共有することは、とても大事なことです。 計画が実行さえているので、良いと思います。継続出来る様お願いしたい。

	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・医療ニーズの高い利用者の受け入れが出来る様、介護職でのたん吸引が出来る様に研修受講を進めていく。 ・地域包括システムの中核的サービスとしての看護・介護の役割について、事業所内研修の年間計画に組み込み知識を高める。	・3 名の職員が医療の役割が担えるよう介護職員喀痰吸引研修を受講しスキルアップを図ることができた。 ・4 月に外部講師による地域包括ケアシステムの構築方針・計画内容を理解する為、中核サービスを担う看護小規模多機能の役割を学び知識を高めることができた。	医療技術の修得や看護・介護の役割の修得のため、研修会・勉強会を開催することは大事である。 介護職員での喀痰吸引ができるように研修を受講されているので良いと思います。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・ご家族の安心感に繋げられるよう、看護・介護の連携と学びあいによる成長ができるように一緒にケアを提供しプランの計画目標に向けて職員全員で看護小規模の機能の充実を図っていく。	事業所の年間計画に「生活を整える」という看護・介護の目標に向かって協働していくことを目標に掲げ、看護は医療的知識・介護は生活支援に関する知識やスキルを共有していくことで、それぞれの役割の認め合いに繋げていけるよう毎月行う事業所内研修会を担当制で行っていった。	看護小規模多機能を高めるため、研修会等で習得した情報は看護・介護の職員間で共有・実践することは大事だと思います。 職員全員でそれぞれんぼ役割の認め合いに繋げていけるよう、担当制で研修会を実施されたことはとても良いと思いました。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		・基本指針を新たに掲げ日々の業務における行動指針を分りやすくしたが、利用者との関わりの場面や業務の中で活かせていないことやイレギュラーな事態への対応等、職員自身で判断できていないことがある。 ・外部研修に積極的に参加しているとは言えずキヤリアアップに関してモチベーションに隔たりがある。 ・職場環境改善に対する認識が薄い（メンター制度・ストレスチェック制度）	・イレギュラーな事態に対しての対応や優先順位が分かり理念や行動指針に基づいた自律的な行動が取れる様、理念を共有し浸透させていく。 ・事業所で取り組んでいる研修への推進。（喀痰吸引研修） 自己研鑽の年間計画に研修参加目標を組み込み計画的に学習してスキルの向上を図っていく。 ・職員参加型での改善策への合意形成が行える様、働きやすい職場作りへの課題や方針が立案できるようにメンタルヘルス制度についての研修を行う。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	・担当制にしている事で利用者へのケアの留意点の変更を迅速に情報提供ができ毎月のモニタリング・ケアカンファレンスを行い介護プロセスの記録をすることはできているが、アセスメントから計画に基づく介護の実践や評価（モニタリング）のプロセス全体の展開ができるまでには至っていない。	・介護福祉士の重要なスキルとしての「介護過程の展開」の一連の流れが分かり実践に繋げて行くことができるようになる。 ・利用者担当制に看護職・介護職共に責任感・達成感を持つことができるよう支援していく。

	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	・医療関係者や家族ともきめ細やかな関わりができ安心感に繋げていけているが、医療ケアの必要な利用者について介護職員がケアに慣れるよう分らないことがあれば看護職に確認する等の業務指導の実施が確立できていない。	・介護職に対して看護マニュアル作成を通じた育成を実施 ・勉強会で看護職から介護職への疾患について等のレクチャーの実施。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・ホームページを見る環境がなく概要を知ることができない場合に備える必要がある。 ・コロナ渦の中でもできる方法を考え次年度は関係性を深め誰でも安心して暮らせる町づくりに向け、当施設の役割を明確にして行く必要がある。	・利用者・家族・事業者・専門職に向けて看護小規模多機能のサービスを分りやすく説明できるツールとしてパンフレットを見直し有効に活用していく。 ・医療ニーズの高い高齢者を支援している事業所だと認識していただける様、看護・介護に関する相談等の取り組みを地域へ向けて発信していく。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・施設全体で災害対策等を行い BPC 対策の強化支援を行ってきたが、BPC（業務継続計画）の作成までには至っていない。 ・利用者の自立（自律）や意思決定を暮らしの中で支えて行けるよう、専門職としての自覚を持ちチームアプローチを強化し職員の能力を上げていきたい。	・BPC（業務継続計画）の作成。 ・自己評価の向上・できていることの継続と振り返り ・基本的な接遇の習得。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		16	1		①～⑤の取り組み内容を看多機の特徴を踏まえ理念等の明確化とその実践が今のところ概ねできていると感じられた。 理念は見える場所に掲示することで、目につきやすく、確認もしやすいので、今後も実践して欲しい。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況･取組内容] ① 365 日 24 時間、安全・安心な在宅療養生活が継続出来る様、看護・介護体制を整えている。 ② 終末期支援のニーズに対応出来る様、利用者・家族の意向を尊重した看取り介護の体制構築の強化を行っている。 ③ 機能維持を目的とした看護師による個別リハビリや生活の中で行えるリハビリの実施。 ④ 病態の変動時や家族のレスパイトに対応。 ⑤ 地域の特性に応じた医療・介護サービスを一体的に提供し地域からの社会資源となれるよう努めている。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
		・　理念は見える場所に掲示している。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	14	1		看多機のサービスの理念が分かりやすい指針によって示されたことで、職員が同じ方向で業務がなされていると感じた。 出来ていると職員がほとんどであるが、できていない職員はできている職員と共有し、全職員ができるようになるといいのではないかと思います。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 全職員に理念が浸透するよう、基本指針を新たに掲げ日々の業務における行動指針を分りやすくしたことで、皆が同じ方向に向き業務を遂行出来る様、理解し実践している。					
（2）人材の育成							
①　専門技術の向上のための取組							
3		5	10	1	1		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	**[具体的な状況・取組内容]** ・キャリアモデルに添って通年で目標管理シートを作成し研修支援体制やスキルアップの評価を含んだ目標になるよう、面談を行い目標達成に向け日々努めている。 ・QC 活動への参加 法人内の研究発表への参加				従業者ごとに目標を設定したり研修計画をたてることはサービス体制強化加算の算定要件ですが、貴事業所ではそれより一歩踏み込んだ対応をされており、とても良い取り組みであると思います。 職員の専門技術向上を図る為の中期的育成計画を作成しそのための具体的な状況・取り組み内容を設定し実施していることは大変良いことです。 目標管理シートを利用することで、一人ひとりが目標をもって仕事をすることができるので良い取り組みだと思います。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4		2	11	3	1		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している					オンライン研修やeランニング研修を活用して積極的に研修に参加していただけたらと思います。 専門的技術向上の為の日常業務以外での機会の確保を図り具体的な取り組みも行っている。これが根ずくのはあと一歩だと感じた。 事業所に必要な技術を考慮し研修計画がなされていると思います。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・個々の自己研鑽・事業所内研修を年間計画に基づいて行っている。 ・事業所に必要な技術を優先する為、介護業務に加え医療ケアにも対応出来る様、スキルアップを推奨し介護士の喀痰吸引研修の受講ができている。 ・外部研修は自ら積極的に参加するとは言えず、モチベーションに偏りがある。					
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5		4	13				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	**[具体的な状況・取組内容]** ・毎月、担当者がカンファレンスを行い決定した内容を伝達ノートを活用し周知する事でスタッフ間が情報共有でき認識の統一を図っている。 ・看護師会議に管理者・介護支援専門員が参加し情報共有し全体ミーティングで報告・伝達している。				全職員ができていると評価されているので、とてもスタッフ間で連携が図れているのだと感じました。 情報の共有の為の取り組みを順調に行っている。時間の余裕があれば「定期的なカンファレンスの開催」も視野に入れて検討してみるといいと思います。 カンファレンスや会議に参加されそこでの情報を職員が共有できるようにされているので、良いと思います。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よく
できている</th><th>おおよそ
できている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている</td><td>2</td><td>13</td><td>1</td><td>1</td><td rowspan="2">コロナ渦でなかなか運営推進会議を開催できない中で、しっかり情報発信・収集がなされていると思います。

議事録で職員へ周知されているので良いと思います。

運営推進会議のメンバーである自分の提話でも機関の発展の一助になればと思っています。</td><td rowspan="2">✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

コロナウイルス感染予防の為、対面での開催は2回となったが、書面開催を行い意見・要望等を返信していただいたことで、サービスの提供の反映に努めることができた。職員は議事録を内覧することで、情報を把握し反映させている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている</td><td>2</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td rowspan="2">管理者を中心に職場環境改善に積極的に取り組まれていることが見て取れます。

コロナ渦、負担の多い職員の安心の為、職場環境の改善の整備が極めて大事であります。そのためにもまだ、改善</td><td rowspan="2">✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します
✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

・ストレスチェック制度を設けており、メンタルヘルス不調やリスクを軽減させ職場環境の改善に繋げている。

・職場環境改善の為、年間目標を立て月ごとに実行計画を実施。経過・結果を</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
		レポートにし役職者会議にて発表し意見交換を行い環境の整備に努めた。				途中かと思われます。 職場環境の改善の為、いろいろと取り組みをされていると思います。	
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	14			スタッフ間での情報共有が整っていることは、利用者の安心材料でもあるため、とても良いことと思います。 情報自体が刻々と変化するので、常に新しい情報の共有をすることが大事です。その点、よくできているとおもわれます。 事業所の評価として、良くできているとなっているので、それぞれに連携が図られているのだと思うので良いと思います。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・毎月、担当者が担当する利用者のカンファレンス記録を行いケアマネが個別計画に反映し随時更新している。 ・情報提供シートを作成しケア内容を迅速に共有出来る様、申し送り日報・連絡ノートを活用している。その日の変更等は日勤リーダーを中心に伝達するようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	2	13	1	1	事故マニュアルを分かりやすく改定したり、徘徊マニュアルを作成するなど、事故防止の取り組みを非常に良くされていると思います。 施設の関係者の各種の事故防止のための事前の対策・発生後の対応マニュアルの見直しを図ることにより改善がなされています。 インシデント・アクシデント等に関しては気を付けていても思わぬことで起こることがあるので、全体ミーティングで話し合う機会を作っていることは良いことだと思います。 大変だと思いますが継続していけると良いと思います。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・施設リスクマネジメント研修を受け事故発生時の事故報告方向ルートを図式化し事故発生時対応マニュアルの見直しをおこなった。 ・インシデント・アクシデント報告書と別に事故発生防止に向け検討記録を行い全体ミーティングで話し合い改善・統一を図るよう努めている。 ・離設に対して徘徊マニュアルを作成し他部署と協働しながら、安全に生活できる環境を整えた。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	2	12	3		防火設備を全従業者が扱えるようにすることは重要です。 また、災害に備えて事業所の防災計画に定めている避難経路についても、全従業者が把握できるよう、引き続き避難訓練を行っていただきたきますようお願いします。 緊急時におけるサービス提供・災害に対する想定演習・防火設備を誰でも操作できる訓練・非常時の操作手順マニュアル化を行っている。 大体できているがさらに職員全員ができるように頑張ってください。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] 年2回の防災訓練を行い風水害・地震への非常災害時の対応の想定演習を行っている。 事業所だけではなく施設全体の部署に参加を求め防災設備の説明を受け非常時の操作を誰でも扱えるよう非常時の操作手順を詳しくマニュアル作成し各部署へ配布し緊急時や災害時の対応整備を行った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
						非常時の操作手順について、写真つきで誰が見ても分かるように作成されています。 自然災害だけでなく火災等の人災についても訓練をされると良いのではないかと思います。	
Ⅱ　サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		16	1		介護者の情報の把握は大変重要であるが、コロナ渦の制約の中で家族の様子や言動から得る情報は重要であり、概ねできていると感じた。 コロナの影響により、思うような対応ができにくい状況ではありますが、その中で工夫をされながら実施されているので、良いと思います。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] コロナウイルスにより、面会制限の為、家族からのアセスメントをすることが難しいかった面もあるが、看護・介護・ケアマネで利用者や家族の様子や言葉か得た情報を共有しサービスへの調整や変更を検討している。					

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よく
できている</th><th>おおよそ
できている</th><th>あまりできていない</th><th>全く
できていない</th></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている</td><td>2</td><td>15</td><td></td><td></td><td rowspan="2">全従業者ができていると評価されているので、引き続き情報共有をお願いします。

看護・介護関係者の得た情報の共有のため、伝達ノートの活用は有効であり、概ねできています。

情報の共有ができていると思われるので、今後も継続して行って欲しいです。</td><td rowspan="2">✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します
✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

看護・介護　両職種の利用者の観察事項・情報や実施したケアを申し送りが出来る様、伝達ノートを分け情報の共有を行っている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td rowspan="2">○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている</td><td>1</td><td>13</td><td>3</td><td></td><td rowspan="2">利用者の尊厳の保持と自己実現の達成の為の計画作成をこまめに行っている。
概ねできています。さらに徹底していくことを期待します。</td><td rowspan="2">✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</td></tr>
<tr><td colspan="4"><u>[具体的な状況・取組内容]</u>

・利用者本人と家族の意向や要望を反映し利用者本位の目標を重点に計画作成している。
・看護師は毎月、看護計画・報告書を作成している。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	15			コロナ渦の中外出が減ると運動の機会も減ってしまうので、心身機能の低下を防ぐために引き続き機能訓練等を行っていただきますようお願いします。 利用者の心身機能の維持回復等を目指した取り組みストレッチ等の体操を行うことは大変良いことであります。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・生活機能維持を目指し機能訓練を中心とした（ストレッチ・呼吸・嚥下）体操で運動・活動量を増加させ心身機能の維持の為、リラックス・リフレッシュすることを目的に脳トレや音楽療法を取り入れたレクレーションの見直しを行った。 ・看護師による個別リハビリ・生活リハビリ計画の見直し作成強化を行った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	2	15			状況の変化の予測・リスク管理・主治医・看護師と連携しながら、良くできていると思います。 医療面でのケアが必要な利用者が多いと思います。 状況変化の予測・リスク管理は大変と思いますが、引き続き利用者に沿った看護計画を立案していただけたらと思います。 それぞれの職種との連携をとり計画を作成することができているので良いと思います。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 利用者の状況変化の予測・リスク管理は主治医・看護師に確認しながら計画を作成している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		16	1		将来的に LIFE のフィードバックを活用して PDCA サイクルが行えば良いと思います。 早期の把握・計画への適宜反映・留意点があれば迅速に情報提供できるシステムの導入、情報の共有と相まって有効であり概ねできている。 状況変化があれば担当以外の職員へも情報提供がされ計画に沿ったケアを実施できていると思うので今後も継続していただきたい。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・担当制にしていることで、状況変化があれば各担当職員がケアの留意点の変更を迅速に情報提供することで、プランへの反映が行われている。 ・アセスメントからＰＤＣＡサイクルを繰り返し計画への反映が適宜行えるようになった。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		15	2		看護・介護が大変重要な役割を担っています。これらの視点の施策を図っており概ねできていると思う。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把
		[具体的な状況・取組内容] 利用者や家族の生活状況やニーズに応じ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
		て通い・訪問・泊まりの調整ができている。				利用者や家族のニーズに応じた対応をされているので良いと思います。	握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	13	2		事業所内外を含む関係多職種との情報共有も概ねうまくっていると感じた。 受診時に連絡票を利用したり入院時に看護サマリー・アセスメントを作成することで他機関との連携を図りやすくしているのではないかと思います。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状況の変化があれば随時、主治医に報告を入れ指示をもらうようにしている。 ・受診時に連絡票を記入し利用者の情報報告や相談を記入し報告している。 ・入院時が看護サマリー・アセスメントを作成し情報の提供を行い共有している。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	3	12	2		看護職と介護職の役割分担、一歩進んだ柔軟な対応ができていると感じた。 どういうところに役割分担	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護で
		[具体的な状況・取組内容] ・介護職と看護職の相違がないよう、話					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
		し合い等を通じて、分担を行っているが役割分担が曖昧に感じることもある。 ・介護職も喀痰吸引研修を受講する事で、スキルアップを図り医療の役割が担えるようにしていった。				の曖昧さを感じているのでしょうか?	は、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	14			全従事者ができていると評価されていますので、事業所内で非常に連携が図れていると思います。 看護・介護職の情報共有は看多機運営のため不可欠である。連携が取れていると思います。 専門用語ばかりを使っているとなかなか伝わりにくいと思うので、説明を行い愚弟的な指示・提案をしていることは良いことだと思います。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 毎朝の申し送り・毎月の全体ミーティグ・カンファレンスに看護職が介護職に状態の説明を行い具体的な指示や提案を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	14			看護職員からの専門性を生かした注意点や指示の連携が図れていることはとても良いことだと思いますので引き続きお願いします。 看護職の専門的情報が介護職に入ってくれば看多機の有用性が増してきます。良くできています。 今後も継続し行ってください。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容] 医療処置の方法や体調・服薬管理等の注意点や指示は日常業務の中で必要に応じて行っている。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	14	1		多機能型サービスがどのようなものか分からない方も多いと思いますので、サービスの特徴等を分かりやすく説明いただけると助かります。 利用者にとってサービスの	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 事業所の特徴や医療処置やサービスの説明を分りやすくパンフレットを用いて、見学時・契約時に家族の質問等を確認しながら説明し理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
						趣旨・特徴が大変重要である。これを懇切丁寧に説明している。良くできています。 パンフレットを用いて説明するだけでなく理解を得られているのはすごいことだと思います。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	14	1		在宅での療養生活について留意点を分かりやすく説明し理解・同意等をえていると感じています。 利用者等へ分かりやすい言葉で説明することで、理解は得られやすいので、良いと思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状態や要望の変化に応じ状況に即した計画をその都度見直し目標に向けて支援している事を具体的に説明し理解・同意を得ている。 ・担当者会議に利用者に出席していただき分りやすい言葉で説明し理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	10	3		利用者は医療機器の取り扱いに不慣れな方も多いので、引き続き丁寧な説明をお願いします。 在宅での療養生活・医療処置・服薬はその都度説明・看護計画書にてケア内容の説明、家族の要望、質問にも適切な手段で説明理解をえることに努めていると感じた。 医療面での専門的な説明となる為、大変だと思いますが、計画書をもとに説明し理解を得られるようにされているのではないかと思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・医療処置や服薬の変化時はその都説明し看護計画書にてケアの内容を説明し理解を得ている。 ・家族からの要望や質問は、面会時や連絡長や電話などの連絡手段を通じて説明し理解を得られるように努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全くできていない		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	2	13	2		家族の希望・意向を的確に把握し利用者の状態変化に応じて対応する体制ができています。 担当者会議を実施するタイミングも難しいとは思っていますが、そこを考えながら自立（自律）支援に向けた取り組みをされていることは良いと思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の状態変化に合わせて適宜担当者会議を行うようにし意向や希望に添える方法を考え自立（自律）支援に向け取り組みを行っている。 ・急変時や終末期の対応についても意向を伺い対応している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	15			将来発生する可能性を予測しその対応策を職員間で検討・共有しています。 適宜家族に報告し支援の方針を決めているので、今後も継続していただきたいと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 生活状況の変化や状況・状態に留意・予測されることを適宜家族に報告し支援の方針を決めている。 利用者の状態に応じては、他施設へ移行					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
		等も行も行えている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		**7**	**4**	**6**	**在宅での看取りを希望されるご家族がおられた際はご対応いただければと思います。** **終末期医療については、その対応策に取り組んではいるが、実践には結びついていない状態。** **終末期において、適切な時期を見測らって説明することはなかなか難しいことだと思います。説明できる時間を設け同意を得るようにしているとのことなので、そこに継続していただきたいと思います。**	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況･取組内容] ・医師・医療職から本人へ説明できる時間を設け同意を得るようにしている。 ・看取り指針の見直しを行い本人・家族の意向が変化しても、医療職と随時同断し対応できるように努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	3	13	1		医療機関との連携が良く取れていると感じます。 在宅生活への円滑な移行については当事者間で情報共有して、すこやかな在宅生活が可能となっている。 利用者の円滑な在宅生活への移行を支援する手段としてしっかりと各関係機関との連携が図れていると思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・入院時情報提供や退院前カンファレンスへ看護職と一緒に参加し退院前の実調や面談にて情報共有できている。利用後の様子も適宜連携室と連携・報告している。 ・医療的な処置については、受け入れ前に看護職が病院と連携を取り情報共有するようにしており退院時の看護サマリーで確認も行っている。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有するこ	**2**	**14**	**1**		良く連携が取れていると思います。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	とができている	[具体的な状況・取組内容] ・利用者の状況の合わせ緊急時の対応方針は主治医と共有できており、主治医とは緊急時、電話で確認でき入院の受け入れ体制を整えている。 ・利用者の状況変化を予測し対応を訪問看護指示書に適宜記載してもらっている。				緊急時の対応方針等については、主治医等との相談・情報の共有が電話や看護指示書に適宜記載によりなされていると思う。 状況に合わせた対応ができるように体制を整えておられるので良いと思います。	の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4	12	1		24 時間のオンコール体制による連絡方法により、休日・夜間であっても即座な対応が可能でありできていると思います。 休日・夜間等の体制にが整えられているので、今後も継続していただきたいと思います。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 看護師による 24 時間オンコール体制で連絡を受け主治医へ報告・相談を行い法人の病院へ休日・夜間であっても対応できる体制を整えている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	3	12	1	1	今年はコロナの為、運営推進会議の開催が少なかったですが、日頃は民生委員や自治会長の方等が多く参加されており、情報提供・収集がなされていると思います。 コロナ渦で運営推進会議が中止となる場合が多く施設での活動・情報が書面に限定されているので、実感が薄い面もある。 書面での会議が多かったですが、施設側がどのようなことを実施されているのか分かりやすく掲示されていたと思います。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] 本年度は新型コロナウイルスまん延予防防止の為、開催の中止が多く書面会議となることが多かったが、対面での開催時には、地域での生活や利用できる資源の情報提供をいただいている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	11	1		運営推進会議の議事録を積極的に外部に公表していることは、とても良い取り組みだと思います。 玄関の掲示・ホームページアップいずれも内覧可能な方法だと思う。しかし　内覧する機会がありませんでした。 事業所だより等での情報発信をされ情報共有されているのではないかと思います。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議の議事録を玄関に掲示しいつでも内覧可能としておりホームページへアップしていることは、毎月配布している事業所だよりに記載しお知らせしている。全職員の議事録の内覧も実施している。					
33		3	8	4	2		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	**[具体的な状況・取組内容]** ・ホームページをリニューアルしサービスの概要等を詳しく見ることができるようにした。 ・コロナ渦の為、地域との活動は積極的とは言えないが、今後、看護小規模としての関わりや活動を考えていきたい。				ホームページを拝見しましたが、とても詳しく掲載されていると思います。 地域住民に向け積極的な啓発活動ですが、ホームページで概要を知ることが出来ない方もいらっしゃるのではないかと思います。 看護小規模多機能というものがどういうものなのか分かりやすく地域住民向けに説明されていることはいいことだと思います。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○				17		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	[具体的な状況・取組内容] 「指定なし」					✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	11	1		今後も積極低な受講をお願いします。 痰吸引ができる職員が増えればその分受け入れも可能になりやすいと思うので、取り組んでいることは良いことだと思います。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ３名の介護職が各痰吸引研修を受講し受け入れ体制を整えることが出来た。 吸引機も１台増設し積極的に受け入れができるように体制を整えている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				17		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 現時点では人工呼吸器の受け入れはしない方針。 （法人である病院へ依頼できる為。ハード面で受け入れができない）					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		2	6	19	結果、支援にまでには至っていないものの、昨年度の自己評価と比べて非常に前向きに取り組まれていると感じた。 看取り支援の体制は整えているが、実際運用することに繋がっていないことでこれからの課題として下さい。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		［具体的な状況・取組内容］ ・癌末期の利用者を受け入れ苦痛の緩和のための薬物治療を行いチームケアで取り組みを行ったが、家族の意向により緩和病棟へ入院するととなり看取りまでには至らなかった。 ・看取りを希望されるケースがあり主治					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
		医と連携し受け入れ体制を整えたが、家族の相談内容が再々変化することで、支援には繋がらなかった。				**対応が難しいとは思いますが、対応された事例に関してはしっかりと相談・連携が図られていると感じました。**	
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		10	7		行政の説明を管理者が受けて伝達はなられているが、職員が理解できていないところがあるのではないかと感じた。 あまりできていない職員がいる為、繰り返しの説明等を行っていき理解していくことが必要だと思います。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 行政の説明会を管理者がリモートで参加し全職員に伝達している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		11	5	1	サービスの認知が広まるにつれ、在宅の方からニーズもさらに増えると思うので、その際は積極的なサービス提供をお願いします。 特定の集合施設等に限定しない地域への積極的展開をすることを期待されます。 市内にない特殊な施設な為今後も地域に対して積極的なサービスの提供をしていただきたいと思います。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 受け入れ相談時に実施地域を確認し対応している。 医療型の有料老人ホームが併設していることで入所のニーズは多いが地域へサービス提供も増えて行っている。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40		2	7	6	2		
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりできていない	全く できていない		
	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	・運営推進会議にて地域の状況を聞き地域の方からの発信がある。 ・業務継続計画（BCP）の計画について地域連携の必要性を課題とし業務継続計画に向けた準備や環境づくりを行っていけるよう地域と共生し貢献できるよう提案した。				もっと課題提起や改善策の提案等の取り組みを増やしていけたらと思う。 地域との連携を今後も継続していき BPC の計画策定に生かしていただきたいと思います。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	7	8	1	**コロナが落ち着いた後に、地域活動や事業所のイベント等を通じて近隣住民と顔馴染みの関係を築いて行ければ良いと感じます。** **家族への対応はできているが、近隣住民との関係性についてはまだ十分とは言えない。**	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されま
		[具体的な状況・取組内容] ・家族には随時説明を行い要望等すぐに対応できるよう取り組んでいる。 ・近隣住民との関係性については、あいさつ程度で関わりがもてるまでには至っていない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりでき ていない	全く できてい ない		
						家族への対応については、今後も今まで通り対応していただきたいと思います。 近隣住民との関係性構築については、施設に関する周知をすることで理解していただき少しづつ協力が得られるのではないかと思いました。	す ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	(1.) ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない **[具体的な状況・取組** モニタリングにて達成状況を評価しPDCA サイクルを活用しプランの定期的な見直しを行っている。 看護師は看護計画書の報告書にて評価し主治医へ提出し家族への説明を行っている。	目標に無理がなく利用者に合った目標が設定できているのだと思うので良いと思います。 利用者への計画目標の達成はなされていると感じた。	✓「計画目標の達成」について、評価します。
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	(1.) ほぼ全ての利用者について、達成されている ２．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない	**貴事業所は医療機関と日頃から密接な関係を築いているため、利用者の方等も安心してサービスを利用できていると思います。**	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	[具体的な状況・取組内容] 医療は必要な方を 365 日 24 時間切れ目ない継続的な支援・対応ができ看護師のコール体制が家族・職員への安心感にも繋がっている。 状況に応じ主治医と連携を取り入院体制や診療の受け入れの対応ができている。	**切れ目ない継続的な支援・対応・他の機関への受け入れ体制の整備が整い在宅での療養生活の継続に対する安心感は達成できている。** **24 時間体制、いつでも相談できる体制があるので安心感がえられていると思うので、今後も継続して頂きたい。**	ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている (4.) 利用者の1/3には満たない 5．看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 法人が病院であることで、看取り希望の方が少ない状況であり、終末期の方の受	利用者の看取りについての要望は、これから増えて行くものと思われる。その体制が整い安心感を得られるようになることを期待する。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5．看取りの希望者はいない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価コメント記入欄	評価の視点・評価にあたっての補足
		け入れが看取りまでには至らなかったが、本人・家族の意向・要望に沿うことが出来るよう取り組んで行きたい。		